府立成人病センター跡地等における

まちづくりに関するアンケート

報告書

大阪府住宅まちづくり部

都市空間創造室

【調査概要】

調査目的

・府立成人病センター跡地等（以下、「本地区」とする）におけるまちづくりの可能性と、必要な条件について広く意見を収集する。

調査機関及び方法

・平成２７年８月２８日（金）～平成２７年９月２５日（金）

・平成２７年９月２５日（金）回答期限

　　　　送付物：アンケート依頼文及び「府立成人病センター跡地等のまちづくり方針（概要版）」

　　　　回答方法：大阪府インターネット申込みシステムを利用

調査対象及び回答数

調査対象：７１社

・大阪府に本社又は支社（支店）のあるゼネコン・コンサルタント・デベロッパー

回答：２９社／７１社（回答率４０．８％）

【回答結果概要】

1. 本地区において、「府立成人病センター跡地等のまちづくり方針」のコンセプト（「多世代が交流する、学びと健康とにぎわいのまち」）や「土地利用ゾーニングと導入機能」に沿ったまちづくりが可能か

　　＊「はい」（可能）とする回答が２６社／２９社

　⇒　９割程度の事業者が「府立成人病センター跡地等のまちづくり」に掲げる「コンセプト」や「土地利用ゾーニングと導入機能」に沿ったまちづくりは可能と判断

（２）「まちづくり方針」のコンセプトに沿ったまちづくりを行うための導入機能について

（複数回答可）

|  |  |
| --- | --- |
| 本地区でまちづくりを行うための導入機能 | 回答数（社） |
| １）教育 | １６ |
| ２）商業・サービス | ２２ |
| ３）居住 | ２２ |
| ４）医療・健康 | ２４ |
| ５）文化･交流 | １４ |
| ６）宿泊 | １３ |
| ７）その他 | ６ |

　　　・「その他」の導入機能として、オフィス等事務所、公共施設（保育施設、図書館等）

　　　　周辺エリアの防災拠点、周辺エリア開発の「種地」とするという提案があった。

1. 本地区のまちづくり（導入機能）に対する具体的な提案

　　　主な提案

・将来に総量不足が予想される高齢者住宅の整備

　　　　・地域医療サービスを補完する病院の移転

・観光・宿泊施設の需要増に対応するホテル、文化交流施設

　　・外国人をターゲットとした医療・健康施設

1. まちづくりに必要な条件について（複数回答可）

|  |  |
| --- | --- |
| 　必要な条件 | 回答数（社） |
| １）土地処分方法の工夫 | １６ |
| ２）貸付による土地処分 | １３ |
| ３）規制緩和 | １５ |
| ４）行政の支援 | １７ |
| ５）その他 | ３ |

　　　・「その他」として、周辺施設との連携の可能性の検討、防災公園街区整備事業の活用の　　　検討、大阪城公園の利用者を呼込む仕掛づくりという回答があった。

（５）「府立成人病センター跡地等のまちづくり方針」について詳細な説明を希望するか。

　　＊「はい」（希望する）とする回答が２０社／２９社